

記載要領

1. 建築基準法点検

【全般】

- この調査票には、会計検査院に提出した「様式5-1」又は「様式5-2」において、「是正状況」の「是正の有無」の欄に「×」（未是正）と回答した項目*がある棟についてのみ回答して下さい。
※会計検査院の様式には、例えば「敷地及び地盤」（2行目）－「地盤」（3～5行目）－「地盤沈下等による不陸、傾斜等の有無」（6行目）などのように項目が記載されておりますが、今回の調査においてはこれらを「大項目」（2行目）－「中項目」（3～5行目）－「小項目」（6行目）と呼び、この「小項目」を項目の1単位とします。
- 会計検査院の様式では1行に複数の項目の指摘事項について記載できる形式となっておりますが、今回の調査では1行に1件の指摘事項の情報を記載する形式としておりますので、ひとつの棟において未是正と回答した項目が複数ある場合は、それぞれ複数の行に分けて記載してください。この際、各行の【都道府県名】～【階数】の欄については同一の内容をそのまま転記してください。（2行目以降を空欄にしたり、「〃」や「同上」等の表記を用いたりしないようにしてください。）
- 別添1に図示した、会計検査院様式と文部科学省様式との対応関係を参考にしてください。

【都道府県名】～【階数】

- 会計検査院が既に入力していた情報をそのまま転記してください。

【指摘に係る項目】

- 未是正と回答した項目について、「大項目」、「中項目」、「小項目」の順番に該当する項目をプルダウンリスト*から選択してください。
※中項目が、「外壁」（3行目）－「躯体等」（4～5行目）などのように、さらに細かく分かれる場合は、「外壁（躯体等）」などのように、括弧書きでまとめたものを中項目から選択してください。また、中項目が空欄であるものは、「※空欄」を選択してください。

【指摘の具体的内容】

- 会計検査院に提出した内容をそのまま転記してください。
- 「分類」については、当該指摘内容に応じて、該当する分類を以下のプルダウンリストから選択してください。
 - ◆「児童生徒等の安全確保上重大な支障があるもの」
 - ◆「その他学校施設の機能保全上支障があるものなど」
- 分類の考え方は以下のとおりです。
 - ◆「児童生徒等の安全確保上重大な支障があるもの」
 - ・指摘事項を是正せずに放置した場合、児童生徒等の生命身体に重大な危害が加わるおそれのあるもの
（例）
 バランダ手すりの劣化 → 手すりが外れて児童生徒が落下するおそれ
 外装材のひび割れ → 落下して児童生徒に当たるおそれ
 窓サッシの変形 → 脱落して児童生徒に当たるおそれ
 防火戸の不具合 → 火災が児童生徒のいる教室等に延焼するおそれ
 避難階段の損傷 → 地震や火災時に児童生徒が逃げ遅れるおそれ

など

◆「その他学校施設の機能保全上支障があるものなど」

- ・上記に該当しないもの

(例)

外壁躯体の軽微なひび割れ → ひび割れの進行や浸水による躯体の劣化・損傷のおそれ

屋上防水の破損 → 雨漏りや浸水による躯体の劣化・損傷老朽化のおそれ

換気設備の不具合 → 教室内の二酸化炭素濃度の上昇による空気環境の悪化のおそれ

など

【指摘時点】

- 会計検査院に提出した内容をそのまま転記してください。

【是正の状況】

- 平成27年12月1日時点での是正の状況を以下のプルダウンリストから選択してください。

◆「是正完了」

◆「未是正（一部是正済みを含む）」

- 一部が是正されている場合であっても、全ての是正が完了していない場合は「未是正（一部是正済みを含む）」としてください。

【是正が完了した時期】

- 是正が完了している場合、その時期を年月日まで記載してください。なお、是正が完了した時期が不明な場合や日付の特定が困難である場合は、是正の完了が確認できた時点の年月日（例えば、H26.4.1以降の定期点検で「指摘なし」となっている場合、その点検の年月日とするなど）とし、その旨を備考欄に記入してください。

- 日付以外の情報は記載しないでください。（エラーメッセージが出ます。）

【未是正である理由】

- 未是正の場合、その理由を以下のプルダウンリストから選択してください。

◆「是正に係る予算を確保できなかったため」

◆「域内の全要是正事項の中での優先順位は高いが、数年以内に実施予定の改修等と併せて是正する予定であるため」

◆「域内の全要是正事項の中での優先順位が低く、将来的な改修等と併せて是正することとしているため」

◆「その他」

- 複数該当する場合は、その中で最も主たるものを選択してください。

- 「その他」を選択した場合、その内容を簡潔に記載してください。

【是正予定時期】

- 是正が完了する予定の時期を年月日まで記載してください。

- 是正年度のみ確定している場合、当該年度末（3月31日）としてください。

- 是正時期が未定である場合は、「0」と入力してください。（エクセル上は「M33.1.0」と表示されま

すが、そのまま結構です。)

○日付又は「0」以外の情報は記載しないでください。(エラーメッセージが出ます。)

2. 消防法点検

【全般】

○この調査票には、会計検査院に提出した「様式3」において、「是正状況」の「是正の有無」の欄に「×」(未是正)と回答した項目がある学校についてのみ回答して下さい。

○会計検査院の様式では1行に複数の項目の指摘事項について記載できる形式となっていますが、今回の調査では1行に1件の指摘事項の情報を記載する形式としていますので、ひとつの学校において未是正と回答した項目が複数ある場合は、複数の行に分けて記載してください。この際、【都道府県名】～【学校名】については同一の内容をそのまま転記することとし、空欄としたり「//」や「同上」等の表記を用いたりしないようにしてください。

○別添2に図示した、会計検査院様式と文部科学省様式との対応関係を参考にしてください。

【都道府県名】～【学校名】

○会計検査院が既に入力していた情報をそのまま転記してください。

【指摘に係る項目】

○未是正と回答した項目について、該当する項目をプルダウンリストから選択してください。

【指摘の具体的内容】

○会計検査院に提出した内容をそのまま転記してください。

【指摘時点】

○会計検査院に提出した内容をそのまま転記してください。

【是正の状況】

○平成27年12月1日時点での是正の状況を以下のプルダウンリストから選択してください。

◆「是正完了」

◆「未是正(一部是正済みを含む)」

○一部が是正されている場合であっても、全ての是正が完了していない場合は「未是正(一部是正済みを含む)」としてください。

【是正が完了した時期】

○是正が完了している場合、その時期を年月日まで記載してください。なお、是正が完了した時期が不明な場合や日付の特定が困難である場合は、是正の完了が確認できた時点の年月日(例えば、H26.4.1以降の定期点検で「指摘なし」となっている場合、その点検の年月日とするなど)とし、その旨を備考欄に記入してください。

○日付以外の情報は記載しないでください。(エラーメッセージが出ます。)

【未是正である理由】

○未是正の場合、その理由を以下のプルダウンリストから選択してください。

- ◆「是正に係る予算を確保できなかったため」
- ◆「域内の全要是正事項の中での優先順位は高いが、数年以内に実施予定の改修等と併せて是正する予定であるため」
- ◆「域内の全要是正事項の中での優先順位が低く、将来的な改修等と併せて是正することとしているため」
- ◆「その他」

○複数該当する場合は、その中で最も主たるものを選択してください。

○「その他」を選択した場合、その内容を簡潔に記載してください。

【是正予定時期】

○是正が完了する予定の時期を年月日まで記載してください。

○是正年度のみ確定している場合、当該年度末（3月31日）としてください。

○是正時期が未定である場合は、「0」を記載してください。（エクセル上は「M33.1.0」と表示されますが、そのままです。）

○日付又は「0」以外の情報は記載しないでください。（エラーメッセージが出ます。）